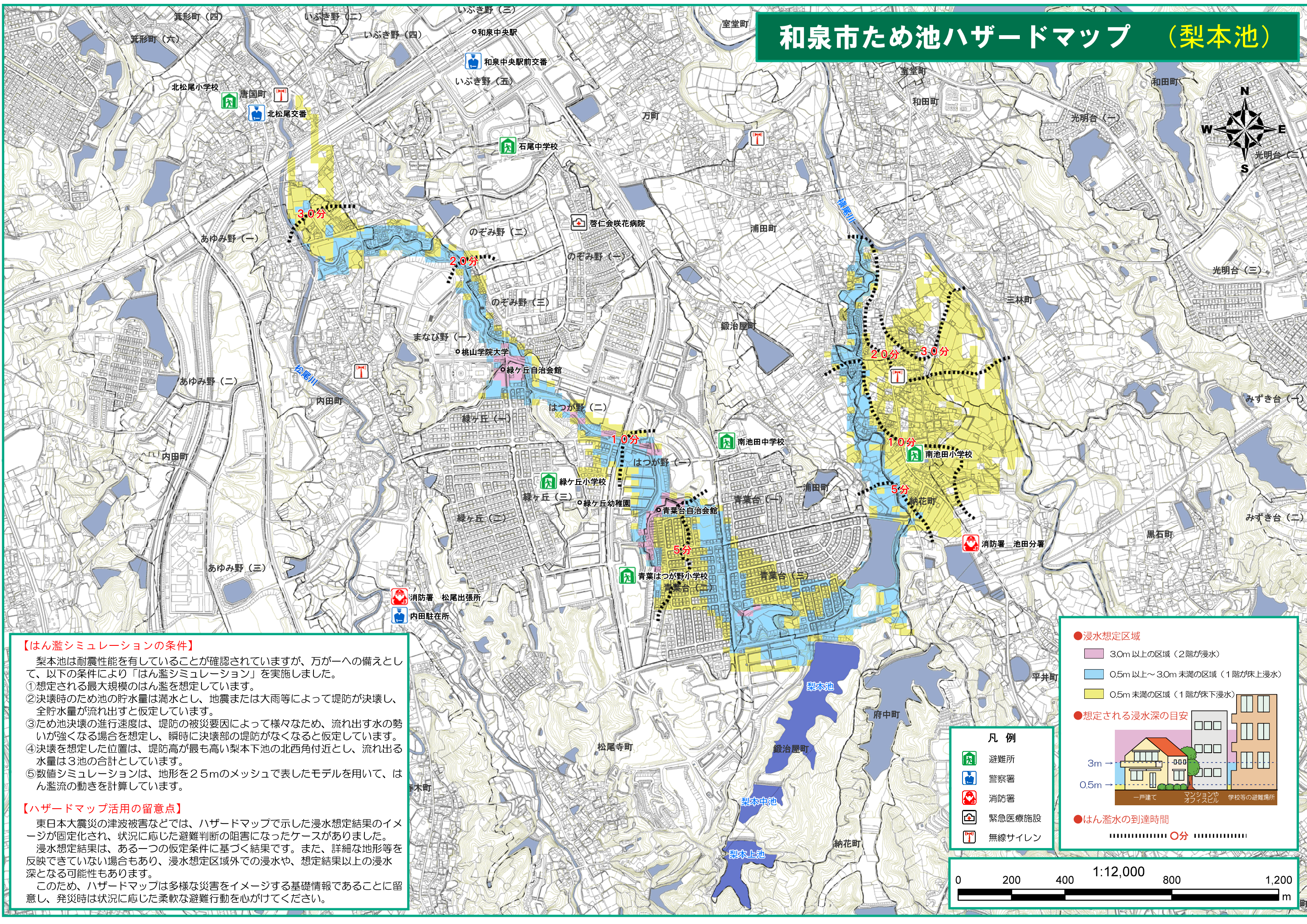


# 和泉市ため池ハザードマップ (梨本池)



## 【はん濫シミュレーションの条件】

- 梨本池は耐震性能を有していることが確認されていますが、万が一への備えとして、以下の条件により「はん濫シミュレーション」を実施しました。
- ① 想定される最大規模のはん濫を想定しています。
  - ② 決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
  - ③ ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
  - ④ 決壊を想定した位置は、堤防高が最も高い梨本下池の北西角付近とし、流れ出る水量は3池の合計としています。
  - ⑤ 数値シミュレーションは、地形を25mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

## 【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

**● 浸水想定区域**

- 3.0m以上の区域 (2階が浸水)
- 0.5m以上～3.0m未満の区域 (1階が床上浸水)
- 0.5m未満の区域 (1階が床下浸水)

**● 想定される浸水深の目安**

3m  
0.5m  
—戸建て— マンション 学校等の避難場所

**● はん濫水の到達時間**

..... 〇分 .....

- 凡例**
- 避難所
  - 警察署
  - 消防署
  - 緊急医療施設
  - 無線サイレン

